

## 事業所自己評価シート

## 保護者による評価

<環境について> 「できている」という評価 96.0%

療育室については、わかりやすい環境に設定されているというご意見が多かった一方で、活動スペースとしては狭いと感じるというご意見もあった。職員の配置や専門性についても、適切との評価が多く、手厚いというご意見もあった。

<療育内容について> 「できている」という評価 93.3%

療育時間に提供しているプログラム内容や支援内容については、概ね良い評価を得られた。一方で、所属している幼稚園・保育園等との連携については、訪問回数や電話等でのやりとりの回数をもっと多くしてほしいというご意見をいただいた。

<保護者の方への説明などについて> 「できている」という評価 92.6%

保護者の方への説明や相談体制については、概ね良い評価を得られた。勉強会についても、良い評価が多く、特に元利用児の保護者の方々にお話いただいた会に対する評価は非常に高かった。一方で、相談する機会や療育時間を増やしてほしい、勉強会のテーマの種類をより多くしてほしいといったご意見もいただいた。

定期的な避難訓練の適切さについては、「どちらともいえない」というお声が2割程度あり、実践訓練の回数の少なさへのご指摘と思われる回答が散見された。

## 職員による評価

<環境・体制について> 「できている」という評価 80.0%

部屋の狭さに関する意見が挙がったが、各クラス環境設定等の工夫をし、適切な療育が行えるよう取り組んでいる。

<業務改善について> 「できている」という評価 80.0%

ミーティングで適宜振り返っているものの、現実的に難しいものがあると感じるという意見があった。

<適切な支援の提供について> 「できている」という評価 89.1%

個別支援計画の立案や日々のプログラム内容については、十分な検討の元に行えていると感じている職員が多い。

<関係機関との連携について> 「できている」という評価 71.1%

幼稚園・保育園等への訪問や電話での情報共有などに加えて、必要時関係者会議なども行っている。一方で、在籍児が利用している機関以外の地域資源との連携の実績は少なく、今後の課題である。

<保護者への説明責任等> 「できている」という評価 88.9%

定期面談や保護者勉強会の設定のほか、連絡ノートでの状況把握に努め、必要時には電話や臨時面談等を行い、保護者支援に努めている。

<非常時の対応> 「できている」という評価 60.0%

各種マニュアルは整備されており、定期的な避難訓練も実施している。しかし、防犯訓練等、災害以外の非常時を想定した訓練については不足しているという意見が挙がった。

## 事業所内での分析

- 部屋の広さや人員、回数等限られた条件の中で、クラスごとに様々な工夫をしながら療育を実施し、保護者からも一定の評価を得られているが、より多彩なプログラム展開や個々にあった支援を提供できるような更なる工夫を模索できると良い
- 幼稚園・保育園等への訪問や電話での情報共有を行っているが、回数を増やしてほしいという保護者からのニーズは高い。限られた機会の中で、支援が十分に行き渡るような効率的な連携方法の検討が必要である
- 様々な緊急場面を想定したマニュアルの見直しや、それらに基づいた訓練を実施できるよう準備を進める

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- 一人ひとりのアセスメントに基づき、個別支援計画の立案やプログラム検討が行われ、最適な療育提供に繋がっている
- 療育中のお子さんの様子をモニターを通して参観することに加えて、懇談や勉強会を通して、お子さんの理解を深めていただき、療育中のみならず、日々の生活に対する間接的な支援も行っている
- お子さんの主たる生活の場である所属集団に対しても支援を行うことで、地域の中でのお子さんに対する理解が深められるよう努めている

### 事業所の改善点

- 関係機関や保護者との連携がスムーズ且つタイムリーに実現するよう、勉強会や懇談の内容、連絡ノートの手書き等の見直しを図る
- いただいた様々なご意見を取り入れた改善を検討するために、時間や人員の捻出ができるよう、より効率的な業務の見直しを検討する
- 緊急時の対応についてよりわかりやすく保護者に伝えると共に、災害時以外の緊急対応時の動き方についても職員で確認・訓練を行い、危機対応の意識や知識の向上に努める

### 事業所の改善への取り組み

<2024 年度の取り組み>

- ① 来所時だけではなく、日々の生活が充実したものとなるよう、保護者や関係機関との連携を深められる工夫を検討し、実行する
- ② 業務の効率化をはかり、療育内容の充実に向けた検討の時間を設ける
- ③ 引き続き、療育時間内に防災訓練を設定すると共に、火災や地震以外の緊急時の対応について職員研修や訓練を実施する

事業所名 地域療育センターあおば児童発達支援事業所

担当者 こども支援室こだち 室長 大屋敷 由実